

---

Mio Pardre  
ミオ・パードレ

米内山陽子

---

登場人物

男 女

## ○作文

うちのおとうさん。

うちのお父さんはせんぎょうしゅふです。

おとこの人が「しゅふ」になるとき、しゅふの「ふ」の字は「おっと」とかくんだよ、とお父さんが言っていました。

お父さんはむしよくのくせにむだにはくしきではらが立ちます。

きくと、お父さんはとうきょうのけっこういい大がくをでて、その上の大がくいんまで行ったのだそうです。

あの、けっしておかねもちではない、いなかのおじいちゃんおばあちゃんがしぼりだしたかくひを、どぶにすてているのもおなじです。

お母さんは、お父さんを見て

「しかたないのよ…(てんてんてん)」

と、あきらめたように言います。

「しゃかいせいのないひとだから…(てんてんてん)」  
いっぺん、あまりにはらが立ってお父さんに

「この、しゃかいふてき(ごう)しゃ！」

と、あっこうぞうごんのかぎりをつくしたのですが、

お父さんはのんきに笑っていて、よけいにいらいらしました。

このことばづかひもお父さんにしこまれたもので、

いつもクラスの中でういています。

今もういています。

そのことでお父さんをせめると、

「そんなもんは、ただのしつとだ。ほっとけーき」

と、つまらないことを言います。

いっかい、こうやさんにでもしゆぎようにいってしまえばいいのに。

だけど、ごかいしないでほしいのは、

お父さんのこと、そこそこ好きだということです。

お父さんのいれたコーヒーは、すごくおいしい。

お母さんは「せがのびなくなる！」といいかおをしません、

おやつどきにいれてくれるお父さんのコーヒーは、

ほんとうにいいかおり。

このときだけ、うちもけっこうふうのいえじゃんとおもえます。

だからお父さん、これからもおいしいコーヒーをいれて下さい。

おわり。



## ○対話

女 買った買った。

男 そうだな

女 買った買ったなあ。頭金一千万。まあよく頑張って貯めたよわたし

男 半分以上、あいつが出したんだろ

女 もうお母さんに足向けて寝らんないけど

男 血は争えねえな

女 三五年ローン。

男 払い終わる頃には六〇過ぎてんぞ

女 マジか。

男 まじだなあ

女 払えんのか。

男 払えよ

女 宝くじあたんないかな。

男 お前なあ

女 もし3億当たったら、

男 ローン一括で返すだろ

女 服買う。ツモリチサト買い占める。

男 まずローン返せよ

女 Zuccaもいいな。

男 ……

女 ここからここまで下さいっての女の夢だよね。

男 知るか

女 あーでも絶対当たらない

男 わかんないだろ

女 あたし、そういう運が、絶対的にない。

男 断言するねえ

女 どうしよう。三万も突っ込んじゃった

男 買ったのか。

女 わかってるんだけど、わかってるんだけど。

買ったちゃって。

当選番号が出るまではあれ買うこれ買うって夢が広がりまくるんだけど、結局当たった事なんてないし、すっごいがつかりする。

男 今回は三万のがっかりか

女 三万出して「がっかり」買ったよ。高いがっかりだなおい

男 でも買わないとあたんないしなあ

女 買う時だけは当たる気がするって思うんだよな

男 じゃあ三万も買うなよ

女 今回は買い物が大きすぎて突っ込みすぎた

男 いつもはいくら買ってんの

女 いつもは三千円なのに……

男 バカだねえ

女 三万あったらエイタとおいしいご飯食べられるのに

男 エイタ？

女 三億当たってたら、エイタの借金返せる。

男 ちよつと待て

女 そしたらエイタも戻ってくる。はず。

男 ……

女 だってかわいいそうだもん。

あんな、お金もない、若くて可愛いだけが取り柄のビッチ。

パチンコもスロットも行かせてあげられないじゃん。

男 パチンコお？

女 エイタに頭なでられたい……。

いいこいいこしてもらいたい……。

それだけでいいのに。全部ゆるせるのに。

男 その男、いっぺん拝ませろ

女 会いたいなあ……

男 捨てられたのか

女 会いたい

男 やめろやめろ。ろくなもんじゃねえぞそいつ

女 (歌う) 会いたいと思うことが、何よりも大切だよ

男 なんだその歌

女 懐かしいな米米

男 コメコメ？

女 一緒に歌ったねえ

男 チェツカーズだろ！

女 チェツカーズだったっけ

男 一緒に歌っただろ！

男女 (歌う) 涙のリクエスト。最後のリクエスト。

最後のコインに祈りを込めてミッドナイトDJ

(ミッドナイトDJ)。

女 世代じゃねっつの

男 付き合えよ

女 さんざん付き合わされた

男 おまえノリノリだったじゃねえか

女 基本的に、無理矢理自分ワールドに引きずり込むよね。

男 そんなことねえよ

女 暢気な顔して。穏和なフリして、しれっと。気付けば趣味の世界に連れてかれてた

男 そうかあ？

女 わたし、全っ然好きじゃなかったんだけど

男 なにが

女 コーヒー

男 え？

女 知らなかったでしょう？

男 ちよつと待って、お前、じゃなんでこの

女 苦い

男 は？

女 甘くないのは、まあいいよ。

わたし紅茶はストレート派だし。

辛いのかもわかる。キムチ大好き。

でも何？ 苦いって。意味わかんない。

わざわざ好きこのんで、なぜ苦いを求める？

男 バカか！？

女 ……今、バカって言ったでしょ（きつと）

男 言ったよ言いましたよ今日の前で言っただろ。

試し読みしていただけるのはここまでです。

この続きは商品をご購入の上ご覧下さい。

## Mio Pardre (おためしサンプル)

ミオ・パードレ

---

2012年6月25日 初版発行

著 者 米内山陽子 © 2012年

発行者 石村寛之

発行所 有限会社レトロインク

〒181-0001 東京都三鷹市井の頭4-26-7

電話 0422-49-2903

---